

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	太幡 直也 (たばた なおや)	所属	常磐大学人間科学部
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会欺瞞的コミュニケーション研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (2015年3月7日の研究会参加者)</p> <p>会員 8名 (うち認定心理士 1名) 非会員 4名 (うち認定心理士 1名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>本研究会は、欺瞞・隠蔽など、欺瞞的コミュニケーションに関する研究に関心がある研究者が、研究発表、議論を行うことを目的とし、2011年9月に発足した。本年度の主な活動は、「①本年度の計画の打ち合わせ」「②研究会の実施」、「③研究会ホームページの充実」であった。以下、それぞれについて説明する。</p> <p>①本年度の計画の打ち合わせ</p> <p>代表者、佐藤拓氏 (いわき明星大学)、菊地史倫氏 ((公財)鉄道総合技術研究所) の3名により、2014年8月3日に常磐大学の代表者の研究室にて開催した。主な議題は、本年度以降の研究会の発表者の選定、研究会ホームページの充実のための企画立案であった。決定事項に基づいて、研究会の運営を進めた。</p> <p>②研究会の実施</p> <p>本年度の研究会は、代表者、佐藤氏、菊地氏の3名を企画者として、2015年3月7日に大妻女子大学千代田キャンパスにて開催した。発表者は藤原健氏 (大阪経済大学) であり、タイトルと概要は以下の通りであった。社会、認知、発達、臨床、生理など、心理学の多岐の分野にわたる研究者が参加し、活発なディスカッションを行った。</p> <p>(研究会ホームページの告知から抜粋) 発表タイトル: 笑顔に対する欺瞞性判断: 信号検出理論を用いた真実性バイアスの検討 概要: 笑顔はポジティブさの表出であり、対人コミュニケーションにおける潤滑油でもある。ただし、2種類の笑顔 (Duchenne smile vs. Non-Duchenne smile) があるといわれるように、真にポジティブな状態でなくても偽りの笑顔を浮かべることができる。他方、欺瞞研究を眺めてみると、欺瞞性判断を行う際には真実であると判断する傾向が高いこと (i.e., 真実バイアス) が示されている。これらを踏まえて本研究では、笑顔に対する欺瞞性判断についても真実バイアスがみられるのかを検討した。</p> <p>③研究会ホームページの更新</p> <p>研究会活動を広く告知するため、研究会ホームページを活用している。これまでのコンテンツは、実施した研究会の発表内容の報告が中心であった。本年度は新たに、欺瞞的コミュニケーションに関連する文献紹介、論文紹介、年次大会の研究紹介などのコンテンツを設け、ホームページの内容を充実させた。コンテンツは、菊地氏を中心に、代表者、佐藤氏の3名で分担して製作した。ホームページの更新は、ホームページ製作を委託した河島知都氏に依頼している。</p> <p>ホームページ URL: http://drt.secret.jp/index.html</p>		

2015年 3月 18日

日本心理学会研究会2014年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会欺瞞的コミュニケーション研究会

研究会番号 研14002

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2015年3月7日	発表者交通費補助（藤原健）	¥20,000
2015年3月18日	返金（日本心理学会）	¥10,000
支出合計		¥30,000